

# 獨立自尊 首都圏同窓会

東京南翔会 第21回 総会・懇親

秋田県立秋田南高等学校卒業生の皆様へ

東京南翔会では、2018年以來になる集合形式で同窓会総会・懇親会を開催することに致しました。皆様のご参加をお待ちしております。

**開催日 2024年5月26日（日）**

**総会 14時00分**

**懇親会 15時00分**

**会場 大手町サンケイプラザ 311**



参加会費 10,000円



東京南翔会 問合せ先 [abeyutaka.au@gmail.com](mailto:abeyutaka.au@gmail.com) 阿部豊（13期）

# □ 秋田県に係わるトピック 2023年

## 1) 大雨

- ・2023年7月14日～7月19日 総降水量400mm、局地的に500 mm  
特に7月15日24時間に330 mm、48時間で400 mm  
平均降水量 7月197 mm、8月184 mm、9月161 mm（年間1,709 mm）
- ・秋田市住宅浸水3,770棟、被害世帯25,000世帯  
過去の大雨被害は昭和30年6月25日～26日、300 mm、1,139棟浸水が最大
- ・これまでに経験のない大雨で秋田市、男鹿市、藤里町などで被害発生  
秋田市内で孤立する世帯が多く発生

## 2) 猛暑

- ・昨年、東京の猛暑日は22回、真夏日は90日の暑い夏になった
- ・一方、秋田市の昨年8月猛暑日は13回、1882年記録をとり始めてから最多  
また8月は観測史上初めて全て30度以上の夏日を記録し、異常に暑かった
- ・8月23日秋田市38.5度、同31日横手市で39.2度と過去最高気温

## 3) クマ出没

- ・昨年の熊目撃情報は11月までに約3,660件、怪我70人と全国最多  
しかし12月下旬になってもまだ出没、冬眠は？
- ・昨年までの熊目撃情報は1,000件前後、けが人は10～20人
- ・秋田市内でも多数目撃、まさしく「アーバンベアー」  
昨年夏の暑さで餌になるどんぐり等の不作がアーバンベアー出没の一因と  
言われているが温暖化が進めば、今後も油断できない状態が続くのではとの懸念

## 4) 人口（国立社会保障・人口問題研究所）

- ・総人口2020年1億2,600万人から2050年1億400万人と約17%減少  
自治体の2割が人口30%減少（秋田、青森、岩手等11県）
- ・減少率が最も大きかったのが秋田県で42%減  
2020年96万人が2050年には56万人に  
尚、2022年の出生率は28年連続ダントツビリ（2022年出生数3,992人）
- ・2050年、秋田県は5割が65歳以上となる  
同、青森県は48%、岩手県46%（東京33%）

# □ 秋田南高校関連トピック

## 1) 県内公立高校

- ・2022年募集人員5,597名に対し志願者数4,959人（平均志願倍率0.89倍）  
尚、2022年の出生数は3,992人（出生率は28年連続ダントツビリ）  
高校の定員割れが深刻で学校の統廃合、募集人員削減等に対応するも・・・

## 2) 秋田南高校

- ・倍率1.21倍（秋田高校1.18倍、秋田北1.41倍、秋田中央1.23倍）  
募集人員148名+中等部から80名  
中等部の倍率は2.2倍程度
- ・偏差値  
秋田南66(県内82校中2位、全国国公立高校9,798校中475位)  
参考) 秋田高校71、秋田北62、秋田中央62

## 3) 進学状況

- ・進学  
2023年現役国公立大学合格者は143名（合格率48%）  
同私立大学合格者141名
- ・中高一貫校評価  
2016年開校し2022年に初めて高校卒業、この年に東大へ3名合格（23年1名）

## 4) その他トピックス

漫画家 倉田さん（9期 東京南翔会副会長）

- ・昨年11月に「闇バイト、特殊詐欺被害防止」の「啓発防止漫画」が警視庁練馬署で公開し練馬署管内の学校等に配布。練馬署から感謝状贈られた。
- ・倉田さんは昨年12月15日にその漫画チラシを後輩にも活用してもらえればと南高を訪問し寄贈。
- ・南高では12月20日の全校集会で生徒指導部から冬休み中の生活に関する注意とともに「闇バイト、特殊詐欺」の社会に与える影響、そうした犯罪にかかわらない為の心構えが伝えられた。



東京南翔会タオル（倉田よしみ先輩デザイン）

総会・懇親会へのお問い合わせは、下記メールへお願い致します。  
[abeyutaka.au@gmail.com](mailto:abeyutaka.au@gmail.com) 阿部豊（13期）